



島ぜんぶでうむさんラブ

Uchina Social Action Powered by Yunus Social Business



沖縄から
社会にイイこと
はじめよう。

 株式会社よしもとラブ&ピース



ソーシャルビジネスを、沖縄から

2021年、株式会社よしもとラフ&ピースが休眠預金等活用制度に基づく助成事業「ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業」の実行団体として沖縄県におけるソーシャルビジネス普及活動を実施していく運びとなりました。現在、事業開始より3年目を迎えております。

当初からのパートナーは、「社会をより豊かにする」インパクト投資や経営支援、事業開発に取り組んでいる沖縄のリーディングカンパニー“株式会社うむさんラボ”。両社で沖縄における社会課題解決の支援に全力を尽くして参ります。

県内だけでなく、国内外問わず多くの方に参加、サポートいただきながらこのムーブメントを広げていこうと考えております。

『島ぜんぶでうむさんラブ（島ラブ）』への想い

「うむさん」……面白い、ワクワクする（沖縄方言）

沖縄の「島ぜんぶ」に「島への愛」を楽しみながら広げていくことを目指します

実施事業概要

事業名	島ぜんぶでうむさんラブ Uchina Social Action powered by YunusSocial Business
実施内容	沖縄県におけるソーシャルビジネスインキュベーション推進事業 ・沖縄県41市町村におけるソーシャルビジネスの普及啓発を目的としたインキュベーション事業を展開 ・社会課題をビジネスで解決する方法について教育機会・起業機会を創出 ・沖縄県に存在する社会課題とその解決手法を広く全国へ発信
実施コンテンツ	41市町村へ向けたワークショップ／ビジネスコンテスト／BS番組の制作／評価 等
提携	株式会社うむさんラボ 他
期間	2021年～
ゴール	<u>沖縄がソーシャルビジネスアイランドになる</u>

当社のご紹介

株式会社よしもとラフ&ピース

吉本興業グループの沖縄現地法人として「沖縄国際映画祭」等の運営を行う

▼「島ぜんぶでおーきな祭 沖縄国際映画祭」

2009年より毎年春季開催

沖縄県41市町村で展開する総合エンタテインメントの祭典

参考：2023年4月15日～16日開催「島ぜんぶでおーきな祭 第15回沖縄国際映画祭」
のべ3万5,000人動員、経済波及効果は12億1,672万円



ロードマップ

種まき・発見期 (1年目)

テーマ：
ソーシャルビジネスを知って
もらう

- ・社会課題に取り組んでいる人をサポート
- ・人々の興味、関心を高める

芽生え・挑戦期 (2年目)

テーマ：
チャレンジャーと
応援者の輪を広げる

- ・チャレンジする人、応援する人の母数を増やしていく
- ・繋がりや輪が大きくなることで、解決できる社会課題も増える

成長・拡大期 (3年目)

テーマ：
沖縄の社会課題解決への
取り組みを、より多くの人へ
届ける

- ・取り組んできた社会課題の解決のノウハウも蓄積され、成果も見えてくる
- ・地域内に留めず、県内外、海外でもナレッジシェアを広げていく

収穫・定着期 (4年目以降)

テーマ：
自然と社会課題に取り組む循環が生まれる沖縄

- ・社会課題と向き合うことが、当たり前（生き甲斐）となる沖縄県に
- ・個々がGive & Giveのマインドを持ちながら、真の意味でのイチャリバチョーデー（誰一人取り残さない）の社会を築く



実施プログラム①「島ぜんぶでうむさんラブキャラバン」

実施時期：8月～11月（毎年）

内容：沖縄県内にソーシャルビジネスを周知するキャラバン

2023年実施計画

沖縄県内4か所（沖縄本島南部・中部・北部・離島）で実施

プログラム内容（予定）：

第1部

イントロセッション

ワーク①「お互いを知る」

インプットトーク①「ソーシャルビジネス」とは？

第2部

インプットトーク②「ソーシャルコンセプト」とは？

インプットトーク③「先輩起業家に聞いてみよう」

第3部

ワーク②「ソーシャルコンセプトをつくってみよう」

まとめ

共有・分かち合い



実施プログラム②「島ラブアカデミー」

実施時期：1月～4月（毎年）

内容：ソーシャルビジネスのアイデアを形にし、事業プランの発表を行う

2023年の実施スケジュール

▼ソーシャルコンセプト + ビジネスモデル発表とフィードバック

日時：3/4（土）13:00 ～ 17:00

場所：沖縄ラフ&ピース専門学校

▼メンターウィーク & 現地調査

期間：3/6（月）～ 3/15（水）

場所：オンライン&リアル

▼社会起業家との対話：ビジネスモデルの共有とブラッシュアップ

日時：3/19（日）：13:00 ～ 16:00

場所：沖縄ラフ&ピース専門学校

▼プレゼンテーション研修

日時：3/25（土）：13:00 ～ 16:00

場所：Lagoon

▼プレゼンテーション資料のブラッシュアップと発表のフィードバック

日時：4/1（土）

内容：Lagoon

▼プレゼンテーション資料のブラッシュアップと発表のフィードバック

4/8（土）：13:00 ～ 16:00

内容：沖縄県立美術館



実施プログラム③ 番組制作

番組名： BSよしもと番組「Cheeky's a GoGo!」

放送日時： 第2・第4水曜日 13:00 ～ 17:00

放送後、YouTubeで配信



Youtube
島ぜんぶでうむさんラブチャンネル



実施プログラム④「島ラブ祭」

実施時期：4月（毎年） ※沖縄国際映画祭のプログラムとして実施

内容：ビジネスプランの発表

2023年の実施概要

▼日時：4月15日（土）開演 15:00 / 終演 18:10

▼場所：琉球新報ホール（那覇市泉崎1-10-3）

▼来場者数：301名

▼コメンテーター：

平良 いずみ（沖縄テレビ放送 報道部 キャスター）

平良 斗星（公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事）

西原(廣瀬) 文乃（立教大学 経営学部国際経営学科 准教授）

宮城 治男（NPO法人ETIC.創業者）

▼MC：ガレッジセール、よすみ



「島ラブ祭」 当日の様子



「島ぜんぶでうむさんラブ賞」を受賞したのは 「看取り沖縄」

01 NPO 法人たいようのえくぼ

沖縄のママに届ける

私は沖縄県内で10年間、子育てのフリーペーパー作りに関わってきました。そのなかでお金をいただかないと情報が載せられないもどかしさや、活字を読まないママ、スマホやSNSの普及の波のなか「変わらなきゃ」と思いました。そんな思いから、沖縄の子育て情報（行政・企業・NPO・個人）を1箇所を集め、子育て・家事・仕事、日々忙しいママ達がクスツとなってくれるような心がホッとするような、そんなポータルサイトを創ろうと思っています。

島ラブ祭への想い

「子育てでどんな困難が生まれても大丈夫!あなたは一人じゃない。私たちがそばにいるよ」これまでフリーペーパーを中心に届けてきた想いを、困っているママ達へもっと情報を届けるために、経営資源（人・もの・情報・お金・想い）を回しながら基盤を強化していける、強いママのNPO法人に成長したいと思っています。ぜひぜひ観に来てくださいね!



仲村優香



<https://www.taiyonoekubo.com>

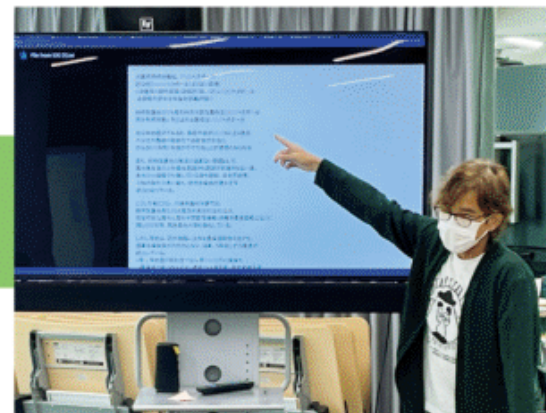
02 ユレイ・アース

語り合い共創していく農業 (よりあう大地)

脱サラをして、これから自身が就農するにあたり、農業が職業として継続、安定出来る様、ロールモデルとなるべく、新たな農産物、新たな農業の働き方、6次産業へと発展していく事で、仲間を増やしていきたい

島ラブ祭への想い

農業を中心に、沖縄の気候風土、自然を敬う人々の暮らし、その人・物・事が持つ素敵なポテンシャルを伝えたい



比嘉一男

03 Harmo 沖縄

食を通じて沖縄を健康な島に!

沖縄には、琉球料理というすばらしい食文化があります。その反面、現在、肥満率 No.1 などの健康問題もあるのも事実です。沖縄の魅力的な食文化を伝承と健康問題の解決にむけて、私たち若い管理栄養士の目線から一生懸命活動していきたいと思います。

『Harmo』は食の体験型オンラインスクールです。全国に約 200 名の仲間がおり、刺激し合いながら活動しています。地域で活躍する他のメンバーを見て、沖縄メンバーで沖縄のために活躍したいと 1 歩踏み出しました!

また、島ラブアカデミーで学んだこと、自分たちの本当の想いと向き合った時間、社会課題に向き合う 2 期生メンバーの姿、全てが私たちにとって刺激的でした。活動の幅を広げて自分たち自身も成長していきたいなと思っています!

島ラブ祭への想い

県民の身近なじゅーしーで健康を彩る第一歩へ。
県民大好きじゅーしーを管理栄養士がこだわりをもってプロデュース!
沖縄の食を通して、自身の健康について楽しく、前向きに向き合ってほしい。
そんな想いで『ちゃーがんじゅーしー』は生まれました。
皆さんに愛されるじゅーしーになりますように!



謝花うみ



亀田みすず



<https://www.harmo.online/>

https://instagram.com/harmo_okinawa/

04 株式会社リテックフロー

流れの技術で循環型社会を創る

リテックフローは琉球大学ベンチャーである。

大学で開発した流れを活用した技術として、

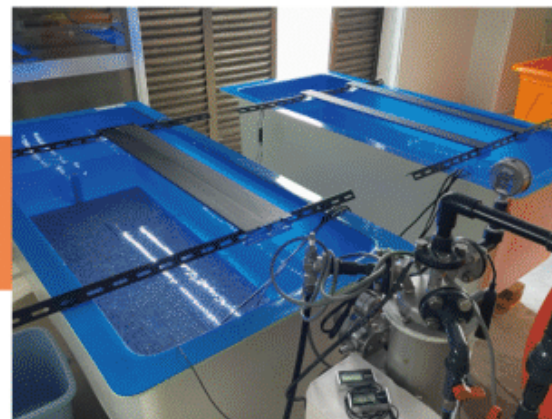
- 1) 排ガスからの CO2 分離回収技術、
- 2) CO2 を利用した陸上海藻養殖技術を使って循環型ブルーエコノミー社会を創っていく。

その第一弾としてどこでも養殖可能な屋内での海ぶどう養殖を行う。

これを障がい者雇用施設とコラボすることで、新しい雇用を生み出すとともに、働く人にとって快適で安全安心な環境を提供する。

島ラブ祭への想い

新しい技術開発が社会を良くしていく。これまでにできなかったことができるようになる。とくに食に関しての技術開発は、今までにない新しい食の収穫により人の持つ本来の喜びを与える。その恩恵を多くの人に伝えたい。今回、障がい者施設エデュカーレさんとのコラボにより、そこで働く人の笑顔と喜びに繋げたい。



瀬名波 出



<http://www.retechflow.com/>

05 小川きぬ

才能を活かして 「自分らしい働き方」ができる女性を増やす

結婚、出産などライフステージごとにキャリアの選択を迫られる女性。そんな女性たちにとって「自分らしい働き方」を見つけだすことはとても大切。でも、忙しい日々の中で考える時間がない…。

そんな女性たちへ「理想の働き方」を一緒に描いていくサポートをしています。まずはそれぞれの才能を見つけ出し「その才能を活かすにはどんな働き方があるか？」を一緒に考えます。

そして「その働き方をするためには、具体的にどんな行動をすればいいか？」というところまで明確にしていきます。

島ラブ祭への想い

「どうすれば幸せに働けるか」それは私がずっと取り組んできた大きな課題です。私自身が過去に 7 回の転職を通して、自分らしい働き方について何度も考えてきました。そしてその課題は、あなたの周りにも、もしかしたらあなた自身も、抱えているのではないのでしょうか。「どうすれば幸せに働けるようになるか」をたくさん考えてサービスを作りました。ぜひご自分や周りの大切な人の顔を思い浮かべながら聴いていただきたいです。



小川きぬ



https://note.com/kinu_awabiz/n/n2f07ee48f711

06 fufu-hug (ふふはぐ)

誰もが家族を持つ幸せを

沖縄で同性のパートナーと子育て中。

セクシャルに関わらず、誰もが幸せなかぞくを築く未来をビジョンに活動しています。

①子供たち、保護者・保育者に向けて多様性の絵本の読み聞かせ

②多様な家族のロールモデルとしてお話し会や相談

などを行なっています。

多様な家族を紹介した「# いろいろかぞくずかん」をInstagramで発信しています。

島ラブ祭への想い

LGBTQ+という言葉をよく聞くようになりました。

当事者の中にも「大切な人と家族を築きたい」「子育てをしたい」と願う方がいること、そして実際に多様なかぞくのカタチがあることを伝えていきたいです。

自分の未来にワクワクする!そんな社会にするために..を皆さんと考えていけたら嬉しいです。



mato



https://www.instagram.com/mato_fufu_hug/

07 市川 昌利

厄介者、外来魚を食べる。

沖縄は海には注目はされていますが、河川には多くの外来魚が生息しています。

近い将来、在来魚が絶滅、生態系が壊れていくでしょう。外来魚の多くは人間が持ち込んだことが原因です。責任を持って駆除すること今必要と考えてます。

そこで、ただ駆除するだけではなく食料資源として活用することを考えてます。

島ラブ祭への想い

まず、一步踏み出すことの重要性が必要、勇気、機会をいただいたので、自信を持ち、自分の言葉で話したと考えてます。



外来魚でビジネス

沖縄県に生息する外来魚たち



ナイルティラピア



ブルーギル



グッピー



市川 昌利

08 レアーズ

何かの「きっかけ」になれば

「誰でも気軽に来れる場所を作りたい」

そんな想いからスタートしたレアーズ。

現在は週一回の駄菓子屋さんを中心に、子どもたちの声を聞きながら、子どもたちと一緒に活動を作り上げています。「やりたい」と思ったときに一緒に考えることから始める。

「やってみる（体験する）」ことによって色んな学びがある。

これからも私たちにできることを、少しずつですが続けていきます。



波平正司



波平美和子

島ラブ祭への想い

これからの未来を担う子どもたちと全力で楽しむこと。

まだまだ模索中ですが、今、私たち大人が子どもたちと一緒にできることは何か、考えるきっかけになれば嬉しいです。



<https://www.instagram.com/lears.kkf/>

09 りっか

こどもが安心して健康に大きくなる社会

沖縄県は島国（離島県）です。
遠征試合などに参加すると飛行機などを利用します。
その時に発生するのが『航空運賃・宿泊代』
自治体からの助成金もありますが、保護者側に経済的な大きな負担が生じているのが現状です。
学生と保護者が一体となって、より多くの学生が派遣体験【こどもの権利】を勝ち取る事をお手伝いします。
今後も人に寄り添う事を心掛けて行動に移していきたいと思います。

島ラブ祭への想い

『こどもたちが安心して健康に大きくなる社会』
沖縄県をはじめとする社会が当たり前のようにならなければならないと思います。
大きな事は出来なくても身近な事から少しずつ、優しい風を吹かせる事が出来れば。
経験も知識もない私は島ラブを通して、想いを形にする方法を学びました。
何よりも【心強い仲間】を得ました。
初心を忘れる事なく、新たな起点として発表に臨みたいと思います。



齋藤 希

10 OrgaNect 合同会社

『セカイのベランダを木に』

農家さんのあらゆるところにマネタイズポイントを作る会社 OrgaNect です。
農家さんの土を使ったオーガニック家庭菜園キットを販売しています。
今回はそのプロダクトを、
育てて食べる離乳食『そだべる』としてリニューアルしました。
「初めての離乳食はパパとママが作った野菜でした。」
人生の全てのフェーズで農業に触れてもらうために、まずは自分で「食」や「農」
を選択できない赤ちゃんにこのストーリーと農家さんの土を届けたいです。



島袋 優



福原 海里

島ラブ祭への想い

農業、農家さんにはまだまだ眠っている価値がたくさんあるということを伝えたいです。
また、OrgaNect はワクワクを大切にしています。
「うむさん」は沖縄で面白い、ワクワクするという意味。
プレゼンを通して多くの人にワクワクを届けたいです。



<https://www.organect.com/>

11 Goodna

人も地球も経済もGoodな社会の実現

「人も地球も経済も Good な社会」の実現を目指す Goodna (グットナ) です。我慢の上に成り立つサステナビリティではなく、わくわくやこだわりを追求した先に地球環境の豊かさも豊かなが実現することを「人も地球も経済も Good」と定義しています。未活用資源の持つ可能性に着目しており、未活用資源を起点にした事業を行っています。現在は、2つのプロジェクトを活動を主な活動としています。

① あしぶ project

未活用資源を題材にした

環境教育 × 自己探究学習(学校教育 / 企業人材研修 / ワークショップ etc.)

② gomikata project

イベントの資源循環プロデュース(事前研修 / ごみステーション設置 / 効果計測 / 報告書 etc.)



島袋みこと



仲宗根かのん



<https://lit.link/mikotoyaibin>

https://www.instagram.com/goodna_canon/

島ラブ祭への想い

沖縄県産の小さな2人が描く大きな夢。

そのエネルギーは、わくわくから生まれています。

人の可能性に、未活用資源の可能性に、地球の可能性に、わくわくしています。

私たちの創り続ける世界に、共にわくわくしてくれる人が増えますように。

そんな願いを込めて登壇させていただきます。

12 Anidot

保護犬猫が平等に愛情を 受けることのできる世界

私達は保護犬猫殺処分ゼロに向けたサービス構築を行う中で、現在の超高齢化社会を生きる高齢者層へのアプローチによる課題解決が必要だと考えています。私達は保護犬猫が愛情を受ける社会をつくりたいと考えています。人間が満たされていないならば人間以外の誰かに愛情を注ぐことはできないを軸に、保護猫を通して高齢者のQOL 向上に向けた取り組みを行なっていきます。

島ラブ祭への想い

メディアなどで、「〇〇市が殺処分ゼロ達成」などと報道することが多いですが、実は殺処分数に反映されていない「ノネコ」の存在があります。ノネコは野生化したネコのことで、奄美大島などで国内希少野生動物種を捕食するという理由で大量に殺処分されようとしていた現状がありました。その為、保護団体さん達はネコを救う為に全力で活動されています。このように、私達がメディアだけでは分からない事実も保護犬猫の問題にはあり、まだまだ深刻です。ペットをこれから飼おうと考えている方は、保護犬猫という選択肢があるということも意識して頂きたいです。



ラザフォード
クリスティー瞳子



芝崎義盛



[https://www.facebook.com/
profile.php?id=100083736668299](https://www.facebook.com/profile.php?id=100083736668299)

13 谷島隼斗

子供達の選択肢を広げる為に。

子供達の将来の選択肢を広げるためには、一般的な座学だけではなく、体験や経験を通して学び、多くの事に関心を持ってもらう事も重要です。ですが、沖縄県には体験学習が出来る施設が少なく、また綺麗な海に囲まれている為簡単に他県に行く事もできません。

そんな子供達にどうすれば体験学習の機会を多くをつくる事ができるのか。それをどうビジネスにしていけるのか考えていきました。

島ラブ祭への想い

学生時代不登校だった一人の女性をペルソナに設定し、ソーシャルビジネスにできないか考えていきました。話を聞いていくと、今の現状になんら不幸は感じておらず、幸せである。という答えに辿り着き、自分が本当に解決したい社会課題は無い。という結論に至ってしまいました。そんな自分が島ラブ祭を通して伝えたいのは、たとえ答えが出ずとも自分の思う社会課題について一度考え、その課題を身近に感じて欲しいという事です。



谷島隼斗

14 看取り沖縄 mitori okinawa

安心して最期を迎えられる沖縄へ

看取りのボランティアや看取り経験者の方から聞き取りをさせて頂く中で、看取りに対してマイナスなイメージや看取り方がわからないと言った声を多く聞かせて頂きました。多死社会となり病院や施設で亡くなりたいと希望しても入れない看取り難民が出ると言われています。在宅での看取りが増える可能性があります。在宅看取りをされたご家族が仰います「家族の最期を看取することで私の中の人間的な成長に繋がった」と。「死は怖いものじゃないよ」と。旅立つ方を子供達と一緒に看取することは巡り巡ってご自身の最期へと繋がります。ご本人とご家族が安心して最期を迎えられる沖縄になりますようにと活動して参ります。

島ラブ祭への想い

「自分の死を想うことは生が輝く」私が大切にしている言葉です。
これから看取りを通し出逢う人すべてをまるごと包み愛します。
看取りの素晴らしさを寄り添いお伝えして参ります。
より良い沖縄を目指して共によりしくお願いいたします。



安里 裕子



<https://instagram.com/mitori.okinawa/>

15 佐久真良太

人は皆、誰かの希望になることができる

沖縄県南城市出身のシンガーソングライター佐久真良太です。

僕は幼い頃から病弱で、これまで小児喘息、原因不明の高血圧、痔瘻、肛門周囲膿瘍、クローン病を患ってきました。日常生活を送ることが難しい時もあった為、何度も挫折を味わってきました。そんな僕を支えてくれたのは、その時々聴いていた歌たちでした。いつしか僕も「歌を通して誰かの心の支えになる」という強い思いが湧き上がってきました。

これから僕の歌を通して、活動を通して、生き様を通して『人は皆、誰かの希望になれる』ということを証明してしていきます。

島ラブ祭への想い

僕に限らず多くの人が、何かしらの痛みを抱え苦悩し生きづらさを感じていると思います。過去の僕のように、自分自身の存在価値を見失い、生きてる喜びや素晴らしさを感じられなくなる人が1人でも少ない世の中であって欲しいと思います。

今回の島ラブ祭で、これからの僕の活動と一緒に参加したい方や賛同してくれる仲間を見つけることが出来たら嬉しいです。

最後に、この文章を読んでいるあなたへ
『人は皆、誰かの希望になることができる!』



佐久真良太



<https://ameblo.jp/ryota-sakuma/>

沖縄に「観光以外の産業も」映画祭の大きな挑戦

貧困の島と呼ばれる沖縄の社会問題を解決

武井 保之：ライター

2023/04/26 12:30

シェアする ツイートする ブックマーク メールで送る 印刷 A+ 拡大 A- 縮小



那覇の風情通りで開催された恒例のレッドカーペットセレモニー。沿道には約1万7000人の観客が集まった（写真：吉本興業提供）

沖縄の春の風物詩となる一大イベント『島ぜんぶでおーきな祭 第15回沖縄国際映画祭』が今年も那覇で4月15日、16日に開催された。

地元根差した「沖縄の祭り」でもある同イベントでは、観光以外の産業がなかなか根付かず、貧困の島とも呼ばれる沖縄の社会問題を、ソーシャルビジネスで解決することを目指す「島ぜんぶでうむさんラブ」（島ラブ）を走らせている。プロジェクトの現状や、今後の戦略を取材した。

15回目を迎えた本イベントの会場周辺には、約1万7000人の観客が集まった。地元の若い世代のほか、観光客の姿も見られ、晴天の真夏日のなか沖縄の祭りらしいにぎわいを見せた。

華やかに開幕した本イベントのメインになったのは、昨年に続いて2回目の実施となった『島ラブ祭 ソーシャルビジネスコンテスト』だ。

島ラブは、ノーベル平和賞を受賞した経済学者ムハムド・ユヌス博士が提唱するユヌス・ソーシャルビジネスの理念に基づいて、沖縄が地域の社会課題をビジネスにして解決するソーシャルビジネス・アイランドになることを目標とする。



経済 沖縄発の「社会を良くするビジネス」15組が登場 島ラブ祭 ガレッジ川田さん「ずっと続いて

沖縄発の「社会を良くするビジネス」15組が登場 島ラブ祭 ガレッジ川田さん「ずっと続いていくべき企画」

2023/4/19 経済 長瀬良起



Tweet Share G+1 BI Hatena Pocket RSS Feedy Pin it



沖縄県内でソーシャルビジネス（社会課題の解決を理念としたビジネスモデル）の実現に取り組む個人や団体15組が、自らのビジネスプランを発表する「島ラブ祭 ソーシャルビジネスコンテスト Powered by Yunus Social Business」が、4月15日に那覇市の琉球新報

MORE

MORE

FASHION | BEAUTY | WEDDING | LIFESTYLE | ENTERTAINMENT | COLUMN | MORE JAPAN | MORE INFLUENCERS

「沖縄の社会課題の解決を目指して」 第15回沖縄国際映画祭レポ

2023.05.03

「島ぜんぶでおーきな祭 - 第15回沖縄国際映画祭」 開催！

沖縄の社会課題の解決を目指すコンテストやクレカをレポート



2023年4月15日、16日に沖縄の那覇で開催された、総合エンタテインメントの祭典「島ぜんぶでおーきな祭 - 第15回沖縄国際映画祭」。映画上映のみならず、音楽、お笑い、アート、ソーシャルビジネスコンテスト、レッドカーペットイベントなどが行われた。

QJWeb

BOOK RADIO MANGA GAME STAGE POLITICS LIFE OTHER BACK NUMBER

>> 5月6日♡HAPPY SKY DAY♡ JO1金城碧海くん23歳

ガレッジセール「ワクワクしかないですね」 沖縄県の社会課題解決を目指す新たな取り組みに期待

2023.4.15



文・撮影= 梅山織愛

Share on

『島ぜんぶでおーきな祭 第15回沖縄国際映画祭』が4月15日に開幕。初日は映画作品の上映、舞台挨拶だけでなく、「島ラブ祭 ソーシャルビジネスコンテスト」や「おーきな祭クレジットカード発行記者会見」などが行われた。

ガレッジセール「大崎会長、素晴らしい企画ですね!」“沖縄のビジネスプラン”プレゼンに感動

掲載日 2023/04/15 18:42

Twitter Facebook B! URLをコピー

お笑いコンビ・ガレッジセールが15日、沖縄県那覇市の琉球新報ホールで行われた「島ラブ祭 ソーシャルビジネスコンテスト Powered by Yunus Social Business」で司会を務めた。



「島ラブ祭 ソーシャルビジネスコンテスト Powered by Yunus Social Business」開催

沖縄県ではソーシャルビジネスの起業支援・普及啓発を目的としたインキュベーション推進を行う事業「島ぜんぶでうむさんラブ」を展開中。沖縄県がソーシャルビジネスアイランドとなることを目指している。

お笑い芸人や俳優、映画監督が 沖縄をさらに賑やかにした2日間！ 第15回沖縄国際映画祭レポート

TRIP / PREFECTURES 2023.5.7

沖縄の社会課題を解決するビジネスコンテスト



全15事業が発表されました。

すべての写真を見る

そして、イベント企画では「島ラブ祭 ソーシャルビジネスコンテスト Powered by Yunus Social Business」が開催。これは貧困、教育、環境など沖縄のさまざまな社会問題を解決するためのビジネスアイデアを競うもの。



島ぜんぶでうむさんラブ

Uchina Social Action Powered by Yunus Social Business



<https://www.shima-lov.okinawa/>